

長野市立鬼無里小学校、鬼無里中学校における 小中一貫教育の導入について



1 導入の経緯

- ・H26.11.22 神城断層地震発生 鬼無里中学校の校舎、体育館が大きな被害を受ける。
- ・H27.4.20 鬼無里地区住民による「鬼無里小学校・中学校あり方検討委員会」発足（H28.3.17までの間に7回開催）
- ・H27.5.28 要望書提出「鬼無里小学校敷地内に中学校棟を建設すること」
- ・H28.2.3 要望書提出「施設一体型の小中一貫教育を進めること等」



H30. 4から小・中併設校（施設一体型）の小中一貫教育を導入

- ・既存小学校校舎を整備し最大限に活用しながら、地域との交流に配慮した特別教室等を新設

2 小中一貫教育の概要

- ・小・中併設校(施設一体型)での一貫性のある教育
- ・修業年は、現行の小学校・中学校と同じ。
- ・校長は県との協議により1人。小中別々の教職員組織だが、職員室は1つ
- ・小中が一つの教育目標やグランドデザインを設定する。
- ・9年間を見通して、学習指導要領に則って教育課程を編成し、小中が一緒になって弾力的に柔軟に運営・指導する。
- ・地域で一つのコミュニティスクール



鬼無里地区では

H28.3.17 鬼無里小・中学校 学校づくり委員会を発足

「総務部会」・「学校施設部会」・「地域参画部会」・「中学校跡施設利用検討部会」を設置し、めざす学校像やコミュニティスクール等について検討を重ねている。

3 鬼無里小学校・中学校の概況

(H28.5.1現在 単位:人、クラス)

小学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	7	3	5	3	4	2	24
学級数	1	1	1	1	1	1	6

中学校	1年	2年	3年	合計
児童数	8	5	13	26
学級数	1	1	1	3

↓ 学校づくり委員会の会議風景



↑ 図書館や特別教室を配置したプレハブ校舎